

奨学金貸与規程

〈趣旨〉

第1条 公益財団法人杉村先生記念奨学財団
定款第2章第4条第1頁第1号の奨学金の貸与は、
この規程によって行う。

〈奨学生の資格〉

第2条 本財団が奨学金を貸与する奨学生は、
次の各号に該当する者とする。

- (1) 大学若しくは高等学校に在学する者又は理事会
が特に認めた学校等に在学する者であること
- (2) 経済的な理由により修学困難な事情があること
- (3) 向学心に富み、かつ、修業の見込みがあること
- (4) 将来、国家及び社会に役立つと認められる者
であること

〈奨学金貸与の額〉

第3条 奨学金の貸与額は次のとおりとする。

- (1) 高等学校の生徒……………月額10,000円
- (2) 盲学校、ろう学校又は養護学校の生徒
……………月額10,000円
- (3) 高等専門学校の生徒……………月額10,000円
- (4) 大学生(短期大学・大学院を含む)
ア. 自宅通学者……………月額20,000円
イ. 自宅外通学者……………月額25,000円
- (5) 各種学校の生徒……………月額10,000円

〈奨学生の認定〉

第4条 本財団から奨学金の貸与を希望するものは、
奨学金貸与申請書に次の書類を添えて提出
しなければならない。

- (1) 在学学校長、出身学校長その他の者の推薦書
- (2) 在学証明書(合格通知書の写し)
- (3) 家庭状況書
- (4) 住民票抄本
- (5) その他、理事会が必要と認める書類

※詳しくは財団事務所にお問い合わせ下さい。

北海道旭川市4条通7丁目586-2 つつじプラザビル
Tel.080-1230-1554 Fax.0166-73-3980

教育功労者表彰

第2章 目的及び事業

第4条 この法人は、第3条の目的を達成するため、
北海道の区域内において次の事業を行うこと(抜粋)

- (3) 故杉村久吉先生の遺徳を顕彰する
- (4) 教育に功労のあった者の表彰を行う

毎年、日章小学校同窓会の翌日、母校を会場として杉村先生
記念奨学財団教育功労者表彰の会を開催、教育功労者並び
に同窓生・ご家族・友人等をお招きし、表彰式並びに記念写
真・昼食会を行い懇談、当時の杉村先生並びに創設者井上先
生のご遺徳やご功績を偲ぶ行事を行っております。

年 度	教育功労者名	関 係
平成20年	荒屋敷 俊 明 氏	元旭川市教育委員会教育委員長
	日 章 小 学 校	教育課程研究(小学校英語)
21年	山 本 傳 氏	元神楽小学校長
22年	藤 原 一 郎 氏	元愛宕小学校長
23年	小野寺 素 子 氏	元岩手県立高田高等学校教諭
24年	大和田 俊 典 氏	元大有小学校長
	小 田 栄一郎 氏	元聖園中学校教諭
	藤 岡 京 子 氏	元旭川盲学校教諭
25年	菊 池 征 児 氏	元豊浦町立豊浦小学校長
	島 本 弘 昭 氏	元旭川市教育委員会教育長
	山 下 善 彦 氏	元旭川市教育委員会教育委員長
26年	福 田 美 文 氏	元朝日小学校長
27年	本 田 雅 榮 氏	元共栄小学校長
28年	成 田 一 芳 氏	NPO法人グラウンドワーク西神楽副理事長
29年	五十嵐 良 氏	五十嵐眼科院長
	大 串 英 彦 氏	元日章小学校長
30年	野 崎 耕 作 氏	元新町小学校長

- 第1期(昭和51年度)より第30期(平成19年度)まで割愛
- 第43期(平成30年度)まで
- 教育功労者表彰(個人166名、団体9 合計172件)平成28年度現在

公益財団法人 杉村先生記念奨学財団

理事長 岩井中 昇

優秀な人材育成のために

公益財団法人

杉村先生記念奨学財団

～人材育成事業(奨学金貸与・教育表彰)～



事 務 所 北海道旭川市4条通7丁目586-2
つつじプラザビル
Tel.080-1230-1554 Fax.0166-73-3980
事 務 局 旭川市立日章小学校内
U R L <http://sugimurazaidan.web.fc2.com>
e - m a i l sugimurazai@seagreen.ocn.ne.jp

財団法人 杉村先生記念奨学財団

設 立 趣 意



故杉村久吉先生につきましては、1920年以來三年有余、旭川市立日章小学校にご勤務されました。

杉村先生は児童達のため全身全霊を捧げ尽された優秀な教師でありました。とりわけ、その杉村先生は勉強嫌いで腕白な子ども達に深い愛情を注ぎこむことに心血を傾けられました。

まるで少年のごとき純粋な魂の持主であった故井上先生は、この恩師杉村先生から常に勇気づけ励まされた児童の一人でもありました。

井上先生は杉村先生より多大の感化を受け、より向上した学問への道を歩み出すことができました。井上先生は、これこそがまぎれもなきその恩師杉村先生からの贈りものであったと述べておられます。

正にその通り、かつて杉村先生の教え子であった井上先生は北大の教授としてご自身の仕事を完うされ、1976年ご退職されました。

実に井上先生は杉村先生の慈しみ深いご遺徳に報いたいと思いたたれ、ご自分の私費を投入されて奨学財団を設立されたのであります。

この財団のねらいとするものは当然ながら、杉村先生の精神の継承であり、国家並びに社会に対し、有為な人材を育成することであります。

昭和51年1月15日

財団法人 杉村先生記念奨学財団

設立代表者 井 上 弘

定款 第2章 目的及び事業

第3条 この法人は、故杉村久吉先生の遺徳を敬慕する旭川市立日章小学校の卒業生によって設立し、教育愛に燃えた先生の精神を継承して、国家及び社会に有為な人材の育成に必要な事業を行い、もって本道の発展に寄与することを目的とする。

平成25年4月

公益財団法人前理事長 佐久間 功

The late Mr.Sugimura's memorial Encouragement Foundation For scholarship students

A prospectus

As for the late Mr.Hisakichi Sugimura,he served the Asahikawa municipal Nissho elementary school for more than 3 years since 1920. He was a young excellent teacher who has devoted himself to the school boys and girls.

Above all he concentrated his passion on the naughty children with his deep affections.

The late Mr.Inoue having a pure spirit just like a boy was once one of the school boy encouraged by Mr.Sugimura.

Mr.Inoue was greatly inspired by Mr.Sugimura and could step up to the way of upper studying. Mr.Inoue said that this was an evident and a great gift from Mr.Sugimura.

Yes,exactly Mr.Inoue, who was a pupil of Mr.Sugimura, fulfilled his work perfectly as a professor and took a doctor of science of Hokkaido University. He retired on April 1976.

Indeed Dr.Inoue did really wanted to reward Mr.Sugimura for his affections and his virtue.

Finally Dr.Inoue established the foundation for the scholarship students through his own expense.

The purpose of this foundation naturally is to succession of Mr.Sugimura's spirit and to bring up the capable persons for nation and society.

P.S.

Dr.Inoue was conferred a bachelor of science at Kyoto University in 1976. And he did many works at Hokkaido University as a professor.

January 15,1976 The late Mr.Sugimura's Memorial
Encouragement Foundation
For scholarship students
Established delegate Hiroshi Inoue

Endowment basic rule purpose

Article 3

I establish it by the graduate of the Asahikawa loved and respecting to the memory of of Mr.late Hisakichi Sugimura Nissho school, and this Article 1 corporation succeeds to the mind of the teacher who burnt in education love and performs the business that is necessary for upbringing of the talented person who national and social, is shifts and changes and is intended that I have and contribute to the development of the right way.

Former director general Isao Sakuma April 2013

事 業 計 画

毎年、下記の事業を行っています。

1. 学生に対して奨学金を貸与すること

●大学(短期大学及び大学院を含む)

月 額 25,000円

20,000円(自宅通学)

年4期(4・7・10・1月)支給

2. 奨学生の指導を行うこと 財団役員と奨学生との交流会を行う

3. 故杉村久吉先生の遺徳を顕彰すること

杉村先生・井上先生の崇高なご業績を踏襲して、経済的に困窮せる学徒を援助し、杉村先生の如き、世に隠れた善意と誠実に満ちた、優秀な教師を世に披露して、以て杉村先生の遺徳を顕彰する為に奨学事業と教育功労者の表彰をするものであります。

4. 教育に功労のあった者の表彰を行う (表彰者の選考は特別委員会に付託)

5. 公益財団法人の取組

平成25年3月21日に北海道知事より認可、
平成25年4月1日旭川法務局に移行登記、
公益財団法人として新たにスタートした

※ご寄附の振り込み先

振込口座(小樽)

02830-1-13746

公益財団法人 杉村先生記念奨学財団

